

## 公益社団法人愛知県医師会 第17回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年 9月12日(木) 午後2時45分～午後5時02分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

### 出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一

城 義政 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 檜尾 富二

樋口俊寛 伊藤富士子 額 額 雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬敬紀

代議員会議長／杉田 洋一

代議員会副議長／藤原 誠治 大野和美

### 欠席者

松尾 清一

議事録作成者 横地 宏和

※市川理事、承認事項3、4の審議中離席。

※額 額 理事、報告事項より退席のため、報告事項26、27、29Eを承認事項2の後に報告。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

### 議 事

#### —承認事項—

#### 1. 庶務関係事項について

##### (1) 後援並びに共催について

- ①愛知県皮膚科医会主催の第25回「皮膚の日」愛知県民の集い〔11/17(日)〕の共催について

市川理事より説明があり、承認された。

- ②愛知県病弱児療育研究会(会長 尾崎隆男 江南厚生病院こども医療センター顧問)主催の第27回愛知県病弱児療育研究会〔H26.1/25(土)〕の後援並びに会場使用料免除について

市川理事より説明があり、承認された。

③愛知県(愛知県知事)の行う「平成25年度骨髄バンク推進月間」〔10/1(火)～10/31(木)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

④一般社団法人愛知県薬剤師会(会長 村松章伊)の行う在宅褥瘡研修会〔10/13(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

⑤瀬戸旭医師会の行う「AED(BLS)講習会」〔9/14(土)〕の共催について

市川理事より説明があり、承認された。

(2) 第50回献血運動推進全国大会実行委員会副会長並びに幹事の就任について

市川理事より説明があり、副会長として柵木会長、幹事として長屋事務局長の推薦が承認された。

(3) マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会医療部会ワーキンググループ委員の委嘱について

市川理事より説明があり、野村直孝(救急委員会委員)先生、北川喜己(救急委員会委員)先生、清水茂(救急医療情報センター)センター長の推薦が承認された。

(4) 第171回(臨時)代議員会〔5/24(土)〕及び第172回(定例)代議員会〔6/21(土)〕の開催について

市川理事より説明があり、第171回(臨時)代議員会(役員選挙)を5月24日(土)14時30分より、第172回(定例)代議員会を6月21日(土)14時30分より開催することが承認された。

柵木会長より、各地区医師会に影響することなので早く開催日を決定した旨の説明及び懇親会の日程について質問され、市川理事より、3月15日(土)に開催する第170回(臨時)代議員会後に行うと回答された。

2. 応急救護処置指導員養成講習会の講師推薦について

稲坂理事より説明があり、6病院へ講師を派遣することが承認された。

3. 愛知県医師会会員相談窓口第3回事例検討会〔10/7(月)〕開催について  
(愛知県医師会主催：801会議室)

大輪理事より説明があり、標記事例検討会の開催が承認された。

4. 「愛知県医師会医療秘書学院」平成26年度学院生募集休止について

大輪理事より説明があり、平成26年度からの新カリキュラム対応等の理由により、

次年度の学院生募集休止が承認され、また、あいちビジネス専門学校へ通信制の委託を現在調整中であると説明された。

柵木会長より、平成26年度は2年生のみ講義を行い、新規の学生は受け付けないと説明された。

5. 「あいちの地域包括ケアを考える懇談会」構成員候補者の推薦について  
樋口理事より説明があり、ご自身の推薦が承認された。
6. かかりつけ医認知症対応力向上研修の講師料について  
樋口理事より説明があり、標記研修の講師料が承認された。
7. GOOD LIFE PROJECT (在宅医療に関するプロジェクトチーム)〔9/30(月)〕開催について  
(愛知県医師会主催：803会議室)  
樋口理事より説明があり、標記プロジェクトの開催が承認された。
8. 母体保護法指定医師の指定について  
伊藤(富)理事より説明があり、転勤3名、新規指定5名、開業1名の計9名の申請が承認された。  
柵木会長より申請者に問題等のある医師がいたか確認され、伊藤(富)理事よりいないと回答された。
9. 各種委員会・部会について
  - A) 第5回愛医総研委員会〔9/27(金)〕開催について  
(5階医師連盟会議室)  
伊藤(健)理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。
  - B) 定款諸規程等検討委員会〔11/1(金)〕開催について  
(804会議室)  
市川理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。  
柵木会長より、変更する内容についての質問があり、市川理事より、主に名称の冠に公益社団法人を追加することであると説明された。

#### —協議事項—

10. 愛知県麻酔科医会(代表世話人 亀澤隆司)の設立に伴う本会分科会としての承認依頼並びに設立総会の開催について  
柵木会長より、愛知県麻酔科医会の亀澤代表世話人より、医会設立に伴い本会の分科会として承認いただき、会員名簿への名簿の掲載、県下医師会長等協議会・会内委員会への参画及び11月9日(土)に行う設立総会の案内記事の愛知医報への掲載についての承認依頼があり、9月10日(火)に行った正副会長打合せにて他

の分科会と比べ会員数が少ないので県医師会の分科会として認めるのは時期尚早であるという結論に至ったと経緯説明があり、役員へ意見を求めた。

伊藤（健）理事より、病院の立場では麻酔科医が開業をすると病院の麻酔科医が減ってしまうという意見、大野副議長より、日本医師会は専門医全員参加の医師会と謳っているので認めてはどうかという意見、山本副会長より、麻酔科医の母数が不明であるという意見、市川理事より、会の目的は問題ないが、会員数に問題があるとの意見が出されたが、柵木会長より、愛知医報への掲載は承認するが、県医師会の分科会として承認することについては、一部の麻酔科医が加入している会の発言が全体の麻酔科医の発言と捉えられる可能性があるので組織率が上がってから改めて協議することにすると発言された。

#### 1 1. 会費の減免申請について

可世木理事より説明があり、豊田加茂医師会から提出された会費の減免申請が承認された。

#### 1 2. 入会金の徴収猶予申請について

可世木理事より説明があり、名古屋大学医師会より提出された入会金の徴収猶予申請が承認された。

#### 1 3. 会員への配付物の発送方法改善について

市川理事より、資料に基づいて説明。今後は、委託金事業の配付物については従来通り直接会員へ郵送し、今まで各地区医師会を通じて配付しているもので、ポスター類については、愛知医報に同梱し、白本等の冊子類については、各地区医師会へ数部送付し、各地区医師会で必要分を取り纏め県医師会へ依頼するという方法にしても従来の費用負担とそれほど変わりはないと考えられるので、4月以降にこの送付方法を行うことを9月の県下医師会長等協議会で説明したいと発言された。

城理事、樫尾理事より、郡市医師会は今まで通りでも問題ないのではないかと、伊藤副会長より地区医師会へ希望調査を行えば良いのではと発言されたが、市川理事より、事務員の少ない郡市医師会もあるので上記の方法で送付させて頂きたいと回答され、原案通りで9月の県下医師会長等協議会で説明することが承認された。

#### 1 4. その他

##### ・第130回日本医師会臨時代議員会について

柵木会長より、今回の日医の補欠選挙について、役員の中で立候補を希望する方が見えたら申し出ていただくよう依頼された。

—報告事項—

1. 中部医師会連合第6回常任委員会〔9/4(水)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

柵木会長より、中部医連委員総会が岐阜で開催され、介護保険特別委員会、社会保険特別委員会、医療政策特別委員会の報告があること、また、今のところ話はないが、愛知県若しくは中部医連より常任理事の立候補者が出た場合は、承諾を得るための議案が出され臨時の常任委員会を開催する可能性もあること、8月10日(土)に開催された医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウムの報告がなされたと報告された。

2. 第1回愛知県地域包括ケア顧問会議〔9/5(木)〕について

(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)

柵木会長より、地域包括ケアシステムの構築に向けた提言について、医療・介護資源が高齢者を中心に見守っていく形であるが、地区医師会モデル、訪問看護ステーションモデル、医療・介護等一体提供モデル、認知症対応モデルの4つのモデルがあり、応用版として在宅医療連携の事業が愛知県に12箇所あり、在宅医療連携支援事業が開始され、この件に関しては説明会が開催されており、約110箇所の医療機関、医師会、行政等が説明会に参加していて、その中で何カ所かがエントリーをし、10月中旬に選定委員会のもと選定され、10月下旬には内容が決定すると報告された。

3. 平成25年度 第1回愛知県健康づくり推進協議会〔8/23(金)〕について

(愛知県主催：自治センター)

愛知県健康づくり推進協議会の経緯や、今年度より推進協議会の組織改編がなされたことについて説明された。また、第5期の推進計画について説明・検討を行ったと報告された。

柵木会長より、組織がスリム化し、組織作りの改変に向けて愛知県が動いていると発言された。

4. 平成25年度広域医療搬送訓練〔8/31(土)〕について

(愛知県主催：県庁災害情報センター)

稲坂理事より、愛知県を南海トラフ巨大地震の被災地として想定し、全国から参集したDMATが県内の災害拠点病院と連携し、被災地で対応しきれない負傷者を、広域医療搬送拠点である県営名古屋空港を経由して、全国の空港へ搬送し、そこから域外の災害拠点病院まで患者搬送を行ったと報告された。

5. 名古屋第二赤十字病院 平成25年度災害訓練〔8/31(土)〕について

(名古屋第二赤十字病院主催：名古屋第二赤十字病院)

稲坂理事より、南海トラフ巨大地震が、休日の時間外に発生したとの想定で実施。行政主催の広域医療搬送訓練の一環として行うため、名古屋第二赤十字病院へDMATの参集受け入れ訓練等も行い、参加者は、災害対策本部要員、訓練スタッフ、訓練参加者、模擬患者、見学者、DMAT関係者であったと報告された。

6. 平成 25 年度愛知県・稲沢市総合防災訓練〔9/1(日)〕について

(愛知県・稲沢市主催：サリオパーク祖父江(稲沢市))

稲坂理事より、南海トラフ巨大地震を想定に、稲沢市医師会と協力して医療救護所の開設・運営、検視・身元確認、広域後方搬送医療機関の選定、空床情報の収集・提供等を行い、また、今回より新しい防災服で訓練に臨み、非常に良く目立ったため他団体からは好評であったと報告された。

城理事より、DMAT と連携が上手く出来なかったこと、細川理事より黒テントが設置されておらず検視・検案テントに直接運ばれて来たこと訓練での反省点について発言された。

7. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練〔9/3(火)〕について

(愛知県医師会主催：救急医療情報センター)

稲坂理事より、三河湾を震源とするマグニチュード 7.7 の地震が発生したとの想定で、訓練を実施した。医師会 12 機関、災害拠点病院 9 機関、基幹病院 7 機関の合計 28 機関が訓練に参加し、無線交信、広域災害システムへの入力訓練、またメール・FAX での情報収集も併せて行ったと報告された。

8. 中部国際空港緊急計画連絡協議会「訓練部会」〔9/5(木)〕について

(中部国際空港緊急計画連絡協議会主催：中部国際空港)

稲坂理事より、藤保大の加納先生を中心に、スウェーデンの災害医療・外傷学教育研究センター(KMC)が開発したエマルゴトレーニングで 10 月 3 日の実働訓練を想定に図上訓練を実施したと報告された。

9. 東海学校保健学会総会〔9/7(土)〕について

(東海学校保健学会：愛知教育大学)

稲坂理事より、第 56 回東海学校保健学会が後藤ひとみ学会長の下、愛知教育大学で行われ、特別講演は三木とみ子女子栄養大学客員教授で演題は「学校保健活動をつなぎ、広げる、養護教諭の実践力」であったと報告された。

10. 第 2 回母体保護法指定医師研修会ワーキンググループ〔9/4(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

可世木理事より、指定医師資格更新のための講習会のテーマ三分野、「①生命倫理に関するもの」、「②母体保護法の趣旨と適正な運用に関するもの」、「③医療安全・救急処置に関するもの」について、講習のモデルが提示され、検討し、12 月に開催される家族計画・母体保護法指導者講習会で発表される予定であると報告された。

11. 平成26年度妊婦健康診査に関する協議会〔8/26(月)〕について

(愛知県市長会・愛知県町村会主催：6階研修室)

可世木理事より、来年度も引き続き、今年度と同様の金額・内容で実施する方向

である程度は合意されたが、愛知県産婦人科医会と愛知県小児科医会の意見を聞いてから再度交渉することになったと報告された。

柵木会長より、年に何回開催されるか、過去に健診の回数や項目が増えたりしたが、こういった事に関して協議する場であるか質問があり、可世木理事より原則年1回の開催で、健診の回数や項目について話し合う場であると回答された。

## 1 2. 第2回医療関係者検討委員会〔8/21(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

市川理事より、「特定行為に係る看護師の研修制度(案)」がワーキンググループで示され、①領域と行為群に分かれ、領域Ⅰの重篤な状態、領域Ⅱの急性期治療を終了した状態、領域Ⅲの長期療養中の状態において、それぞれの領域で研修する行為群が示された。②研修終了後、受講者の申請に従い、厚労省により登録され、登録証が交付される、また、新人准看護師の技術到達の目安(日医案)が示され、概ね、看護師の厚労省案に沿ったものを作成したと報告された。

柵木会長より、新人准看護師の技術到達の目安(日医案)について質問され、市川理事より日医の独自案であると回答された。

山本副会長より、ワーキンググループを作ることは先々の医師不足解消に関したことであり、日本医師会が認めていることかと質問され、市川理事より既に進んでいる話で、日本医師会が認めているわけではないと回答された。

## 1 3. 新入会員等説明懇談会〔9/4(水)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

山本副会長より「医師会の機構と運営・医師連盟」、樫尾理事より「保険医療関係」、細川理事より「医療安全」、大輪理事より「苦情相談会員相談窓口」について新入会員を対象に説明懇談会を行い、出席者は68名であった。また、アンケート調査を行い、本調査を参考に今後の会の運営に活かしていきたいと報告された。

## 1 4. 健康教育講座〔9/3(火)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

吉田理事より、「精神病の遺伝と偏見」として、藤田保健衛生大学医学部精神神経科学講座教授岩田仲生先生に講演いただき、144名の参加があったと報告された。

## 1 5. 日本医師会学校保健委員会〔9/5(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館 506 会議室)

吉田理事より、中間答申と文部科学省への提言に関する報告、文部科学省「健康診断の在り方等に関する検討会」進捗報告、小委員会報告、委員からの提出資料説明、学校保健講習会、諮問事項「これからの学校健診と健康教育」答申について報告・検討がなされたと報告された。

16. 愛知県糖尿病対策推進協議会〔8/23(金)〕について

(愛知県医師会主催：805 会議室)

城理事より、今年度中にホームページに掲載を予定している、「糖質制限」・「運動療法」の説明文などについて検討を行い、また、医療連携体制の範囲を拡げる検討をしていると報告された。

17. 愛知県医師会医療秘書学院講師会(臨時)〔8/25(日)〕について

(愛知県医師会主催：名古屋東急ホテル)

大輪理事より、新カリキュラムの対応等の理由により、学生募集を中止することについて了承を頂き、今後の方針についても説明したと報告された。

18. 治験審査会〔8/28(水)〕について

(愛知県医師会主催：804 会議室)

大輪理事より、初回審査1件(認知症)、継続審査15件(統合失調症6件(小児1件含む)、クローン病・潰瘍性大腸炎各2件、変形性膝関節症・双極性I型障害・大うつ病・認知症・1型糖尿病各1件)について、すべて承認されたと報告された。

19. 愛知県医師会治験推進事業 設立10周年記念講演会〔8/31(土)〕について

(愛知県医師会主催：名古屋東急ホテル)

大輪理事より、講演内容の説明及び参加者は医師81名、薬剤師19名、医療関係者7名、SMO14名、その他12名の計133名であったと報告された。

20. 全国医師会共同利用施設総会〔8/31(土)・9/1(日)〕について

(日本医師会主催：パシフィコ横浜)

(樫尾理事)(樋口理事)

樫尾理事より、日本医師会横倉会長より「日本医師会の直面する課題」と題し特別講演があり、共同利用施設に関して、医療、介護を提供する医師会共同利用施設は地域住民のニーズに応える組織にならないといけないので、その中核に医師会の施設がなるようにとの報告があったと報告された。

樋口理事より東京大学高齢社会総合研究機構辻教授より「地域包括ケアと地域医療」をテーマに基調講演があった。千葉県柏市のプロジェクトの説明があり、医師会と市町村がワーキンググループを設け各種団体から参加を得て、意見交換・意思決定の連携ワーキンググループに拡げていくものであると報告された。

21. 中部医師会連合第1回社会保険特別委員会〔9/8(日)〕について

(中部医師会連合：名古屋マリオットアソシアホテル)

樫尾理事より、日本医師会鈴木常任理事より「次期診療報酬改定に向けて」の講演があり、その内容について及び、指定更新時の集団指導について協議されたと報告された。

加藤理事より、次回の診療報酬改定で開業医のかかりつけ医機能を強化するとメディアファクスに書いてあったと質問され、樫尾理事より、包括的な話しであった

ので具体的な話しは無かったと回答された。

伊藤副会長より、日本医師会は不適正な算定を含めて適正な評価にしたいということであると発言された。

## 2 2. 平成 25 年度第 1 回障害者歯科医療ネットワーク連絡協議会〔8/25(日)〕について

(愛知県歯科医師会主催：愛知県歯科医師会館)

樋口理事より、医科・歯科連携について、各市町村において 3 師会の連携は出来ているのでその中でネットワークの構築を行って頂きたい、また、これからの日本の方向は地区医師会と市町村との連携により地域包括システムを作り上げ、現在の 3 師会との連携を強め多職種との連携を作り上げなければならず、愛知県として平成 24 年度は 4 箇所、平成 25 年度は 12 箇所のモデル地区で体制強化をしていくと報告された。

## 2 3. 平成 25 年度第 1 回愛知県要介護認定等適正化会議〔8/29(木)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

樋口理事より、審査会委員へのアンケート調査を 10 月に実施し、12 月に取り纏める、報告事項として、平成 24 年度愛知県要介護認定の状況について、要介護認定者の割合、申請から二次判定までの平均日数、一次判定変更率についての報告があったと報告された。

## 2 4. 平成25年度第2回母体保護法指定医師講習会〔8/24(土)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

伊藤(富)理事より、日本医師会生涯教育講座と併せて行い、第1回講習会を欠席した更新対象者33名中21名の出席があり、辞退者1名を除いた欠席者は第3回目を受講すると報告された。

## 2 5. かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会(=産業医研修会〔9/1(日)〕)・産業医研修会〔9/5(木)〕について

(愛知県医師会主催：中日パレス、9階大講堂)

西山理事より、9月1日(日)は中日パレスにて開催し、42名の出席、9月5日(木)は愛知県医師会館にて開催し、122名の出席があったと報告された。

## 2 6. 愛知県肝炎診療協議会〔9/5(木)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター3階会議室 A)

瀬瀬理事より、県の健康対策課より現在の愛知県肝炎対策推進計画の取組み状況の説明があった。平成 24 年度では 3,001 件、約 5 億円の医療給付が行われ、また、今後行われる肝臓手帳の作成(平成 26 年 4 月より配布予定)・肝炎ウィルス陽性者のフォロー体制(平成 26 年 4 月より保健所にてフォロー予定)についての説明があり、それについて協議が行われたと報告された。

## 27. 愛知県予防接種広域化調整会議〔9/6(金)〕について

(愛知県主催：8階会議室)

額田理事より、県でチェックされた愛知県広域予防接種委託契約書と運営要領について提示され、各地区の意見等が述べられた。その後愛知県予防接種広域化事業ワーキング会議の参加者について、市町村より武豊町を含めた7市町村、地区医師会5医師会、関係団体に入っていたことになり、また、名古屋市より意見が出たが、摺り合わせをしていくことになったと報告された。

稲坂理事より、ワーキング会議の参加者に東海市が入っているが医師会側の了解について質問され、伊藤副会長より松島会長へ話しはしてあると回答された。

## 28. 名古屋第一赤十字病院 第28回地域医療支援病院運営委員会〔8/29(木)〕について

(名古屋第一赤十字病院主催：名古屋第一赤十字病院)

細川理事より、報告事項で「紹介と逆紹介(件数・率)について」、「共同利用の実績について」、「講演会・研修会・検討会実績について」、「救急医療の実績について」説明があり、また、バースセンターと緩和ケアセンターが出来て好評であること及び門前薬局の経営状況について報告された。

## 29. 各種委員会・部会について

### A) 医療安全対策委員会〔8/20(火)〕について

(803・804会議室)

細川理事より、平成25年8月分委員会提出の29案件(新規25件、解決4件)について検討し、小委員会報告として、平成25年度医療安全に関する講演会、死因究明システム推進事業講演会について報告され、また、9月13日(金)にTV会議にて日医・医療安全対策委員会が開催されると報告された。

### B) 医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔8/27(火)〕について

(801・802会議室)

大輪理事より、事例報告・検討(平成25年7月分)を行い新規事例は111件であり、白内障手術後の症状、医師の発言・態度、婦人科検診、癌の見落とし、特定疾患療養管理料、老人施設と連携医療機関の体制、後遺障害診断書の記載について報告。相談者の訴えと医療側の話が異なる場合があり、双方に様々な背景があること等について協議を行ったと報告された。

### C) 第4回愛医総研委員会〔8/30(金)〕について

(5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、地域医療再生調査研究事業の進捗報告としてイエローカードシステムの進展状況と今後の計画について説明した。また、継続協議事項である「愛知県医療計画に係る組織体制の見直し」では、一部修正を施した私案資料に基づき、医療審議会に係る組織体制の改編、会議の性格に沿った分化の必要性や

名称の統一化などを重点に討議・検討したと報告された。

D) 救急委員会〔9/3(火)〕について  
(7階研修室)

稲坂理事より、冒頭、11月20日実施予定の「日医・JAXA協定に基づく衛星利用の実証実験(防災訓練)」について日医救急災害医療対策委員会委員/日医総研客員研究員/九州大学大学院医学研究院先端医療医学部門災害・救急医学特任助教永田高志先生から概要説明が行われた。報告事項では、9月1日までに行われた関係会議等について報告がなされたと報告された。

E) 環境衛生委員会〔9/3(火)〕について  
(6階研修室)

瀬瀬理事より、行政からの報告で、MRワクチンの供給状況について、MERSについて、H7N9インフルエンザについて、風疹流行の近況について、エンテロウイルスについて話があり、予防接種の広域化、結核対策特別促進事業について報告したと報告された。

伊藤副会長より、資料の記述は委員会時点のものであると発言された。

F) 調査室委員会〔9/4(水)〕について  
(5階医師連盟会議室)

加藤理事より、会員意識及び実態調査について内容の協議を行ったと報告された。

### 30. その他

・東海北陸厚生局との打合せについて

樫尾理事より、東海北陸厚生局と個別指導に関する打合せを行い、県下医師会会長等協議会にて情報提供をする予定であると報告された。

・名古屋フィルハーモニー交響楽団について

市川理事より無料の招待券を希望の方は事務局へ言っていただくよう発言された。

・理事会システムについて

柵木会長より、理事会システム変更の進捗状況について発言があり、山本副会長より、現在、パッケージ商品か自前のシステムかで検討しており、吉田理事と相談し決定をしていきたいと発言された。

柵木会長より、速やかにデモ等を行い進めていくよう発言された。

—話題提供—

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年9月12日